



石巻西高実況中継

～学校の情報や生徒の様子をリアルタイムで家庭に届けます～

平成30年3月1日 第73号

発行者：校長 伊藤 俊

平成29年度卒業式式辞（要約）～「天 我が材を生ずる 必ず用あり」～



3年前、入学の際に君たちに2つのことを話しました。ひとつは、「挑戦する気概」でした。この3年間様々なことにチャレンジし、困難にぶつかっても諦めないで努力してきたことを知っています。いくつものハードルを乗り越えながら、挑戦する気概を身に付けてくれたと確信しています。

2つ目は本当の友達を見つけてもらうことでした。3年間競いながらも励まし合い・支え合った友人がいたから頑張れた時もあったはずで。そんな友達を一生の宝として大切にしてほしいと願っています。

「天 我が材を生ずる 必ず用あり」唐代の詩人・李白の言葉であります。材とは体の意味だそうです。天は自分という人間をこの世に生んだ。

天が生んだ自分には必ず用、すなわち役割、使命があるという意味です。役に立たない人間はいないし、必ずや使命を帯びているのです。私達一人一人に必ず天が託した役割があるのだと思います。

社会的に成功をおさめ、福祉に寄与する役割の人もいます。ノーベル賞を取って人類に大きな貢献をする人もいます。しかし、このような大きな使命でなくとも良いと思います。自分がどんな些細なことでも良いから、人間としての役割や貢献を担っていればよいのです。

Jリーグ FC 岐阜に史上最年少の35歳で社長に就任した恩田聖敬（さとし）さんという方がいらっしゃいます。社長就任と同時にALSという筋肉が委縮してしまう進行性の難病にかかり、話すことも歩行もできなくなり失意のうちに、社長を辞任した方です。「私はALSという難病に選ばれました。社会には直接貢献できないけれども、こんな自分を愛することが天から与えられた自分の役割だと思っています」と話しています。

大切なのは、天から与えられた役割や使命を自覚できるようになることだと思います。君たちも「これが、私の使命だったのだ」と自覚できる時が必ず来るはずで。そうすれば、大きな原動力（エネルギー）になるはずで。仕事の上でも人間関係でも、勉強でも大きな困難にぶつかってもそれを乗り越えられるはずで。

天から与えられた、自分の役割や使命を自覚できるようになるにはどうしたらよいか。

それは、今置かれた立場で全力を出し切る将来のことや過去の失敗のことはさておき、全てを全うすることに尽きると思います。勉強、研究、仕事、恋愛、家事などすべてにあてはまります。このような日々の努力積み重ねが未来への道を開いていくのだと思います。今のこの時を悔いなく生きることの積み重ねが、天から与えられた自分の使命に気付くこととなります。

今を全力で生きること。そうすれば、自分が天から与えられた役割や使命を自覚できる時が来るはずで。すぐ近い将来「これが私の使命だ」と自覚できる人もいるかもしれません。もう少し時間がかかる人もいるかもしれません。

「天 我が材を生ずる 必ず用あり」天が君たちに与えた使命とは何かを求めるように生き、その使命を全うするような生き方を送ってほしいと願っています。

君たちが社会で活躍する頃には、我が国は厳しい挑戦の時代を迎えていると予想されます。生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間のない技術革新等により、社会構造や雇用環境は大きく変わり、職業の在り方も様変わりするでしょう。

成熟した社会を迎えた我が国が、個人や社会の豊かさを追求してゆくためには、私達ひとりひとりの多様性を原動力とし、新たな価値を生み出していくことが必要となります。

しかし、決してひるむことはありません。そんな時代を乗り切る力を身に付けてきたはずで。そして、天から与えられた役割を全うするような生き方が大きな力になるはずで。

皆さんのこれからの輝かしい人生を祈りつつ、卒業に際しての心からの祝辞といたします。おめでとうございます。

平成30年3月1日
石巻西高等学校校長 伊藤 俊

